

わたしの総合型選抜



3年

坂口 貴哉さん

兵庫県立三田祥雲館高等学校 出身

MY FAVORITE  
**TOTTORI**

地域の皆さんから感じる“鳥大愛”

「地域調査プロジェクト」などの実践的な授業で地域に出かけたとき、「鳥大の研究で…」と言うだけで誰もが優しく受け答えしてくださることに感動！“鳥大愛”は鳥取の素晴らしい地域性の一つですね。

## 教員免許取得に探究活動、鳥大ならどちらも叶う！

中2の時、自分を変えてくれた先生との出会いがきっかけで、将来は教員になりたいと考えており、志望校として教育大学を思い浮かべていました。でも、なんとなくモヤモヤ…。僕は、高校が注力していた探究活動が好きなのですが、教育大学に進学したらもうそういった学びができないと思っていたからです。

そんな高3の7月、運命の出会いが。学校で国公立大学の説明会が開催され、たまたま鳥大の話聞いたんです。地域学部は教員免許を取得できるし、地域をフィールドにした調査活動もできると知った瞬間、「ここだ！」と直感。自分がこれまでやってきたことを評価してもらえる総合型選抜で受験することを決めました。

## 討論のヒートアップに流されず、冷静に自分の発言を

1次面接は、自分が伝えたいポイントを押さえ、「自分はこういう人間です」という軸がぶれないよう、また、ゆっくりと丁寧に話すことを心がけました。

グループディスカッションは高校の探究活動で慣れていたはずだけど、いざ本番が始まると皆が一気に意見を言い始めてビックリ。その勢いに圧倒されて、一瞬間が真っ白に。ここで自分も同じ勢いで話に入るではなく、いったん静観して皆の意見を頭の中で整理しようと考えました。それから「本当にこれでいいのかどうか、話し合いましょう」と発言。それからはスムーズに討論に加わることができました。時間はたっぷりあるので、焦らずに自分の意見をまとめることが大切ですね。

第2次選考  
選抜方法

スクーリング

課題論文

詳細は  
こちら→



全文は  
Webで!



グループディスカッション

個人面接

わたしの総合型選抜



2年

松本 紗可さん

鳥取県立鳥取西高等学校 出身

MY FAVORITE  
**TOTTORI**

心を癒してくれる美しい星空

「星取県(ほしとりけん)」を名乗るほど、鳥取県の夜空はたくさんの星を眺めることができます。幼い頃は庭に布団を敷いて寝転がり、流星を見つけてました。鳥取砂丘で見る満天の星空もオススメです♪

## 先輩の受験体験談に背中を押され、総合型選抜に挑戦！

私は、幼い頃から地元のバレエ教室に通っています。高校生になると、幼児や小学生の後輩たちに教える機会が多くなりました。はじめは苦手だったけど、だんだん楽しくなり、どうやったらうまく伝わるのか自分なりに考えるように。次第に、地域との関わりを大切にしたいと思うようになりました。

地元出身で、鳥大附属小・中学校に通っていたので鳥大は身近な存在。高2の後期には志望を人間形成コースに絞りました。一般入試のみのつもりでしたが、高3の夏に訪れたオープンキャンパスで先輩方のいろいろな受験体験談を伺って、受験チャンスを増やすため総合型選抜にチャレンジすることにしました。

## 過去問を参考にみっちり練習、2次対策は抜かりなく

小論文は夏休みに入学センターを訪問して過去問を閲覧。それを参考に練習を繰り返してきましたが、本番の出題は結構難しく。それでも諦めず、そして気負い過ぎず、試験は小論文だけではない、ここで100%の力が出せなくてもいいからとりあえず全部埋めよう、という気持ちで最後まで書き進めました。

口頭発表は、事前に発表内容をまとめる時間がもらえるので、メモしながら数分でまとめ、制限時間内に発表する練習をしっかりとっておきましょう。グループディスカッションは、仲間の意見に共感しつつ、論点がずれないように気を付けて。全体を通して明確な正解がない試験。だからこそ“自分”を持つことが大切です。

第2次選考  
選抜方法

小論文

口頭発表

詳細は  
こちら→



全文は  
Webで!



グループディスカッション

個人面接